

令和2年度 千葉県医療審議会医療対策部会 議事概要

- 1 日 時 令和3年3月30日（火）午後4時から午後5時まで
- 2 場 所 千葉県庁 本庁舎5F 大会議室
- 3 出席者 部会員（21名中3名会議室出席、13名WEB出席）

【会議室出席】

入江部会員、藤澤部会員、宮崎部会員

【WEB出席】

大野部会員、吉田部会員、木村部会員、亀田部会員、谷上部会員、
須田部会員、横手部会員、寺口部会員、中村部会員、鈴木部会員、
齋藤部会員、横須賀部会員、菊地部会員

4 会議次第

- (1) 開会
- (2) 千葉県保健医療担当部長挨拶
- (3) 議事
 - (ア) 部会長の選出について
 - (イ) 診療科別コースの策定について【協議】
 - (ウ) 医師修学資金受給者に係る令和3年度医師派遣計画について【協議】
 - (エ) 基幹型臨床研修病院の指定について【協議】
 - (オ) 地域密着型臨床研修病院の認定について【協議】
 - (カ) 令和4年度から始まる基礎研究医プログラムの募集定員について【協議】
 - (キ) 令和4年度から始まる臨床研修の募集定員について【協議】
- (4) 報告事項
 - 医師少数区域等医師派遣促進事業について
- (5) 閉会

5 議事概要

(ア) 部会長の選出について

医療審議会運営要領第4の第4項の規定により、部会長の選出は委員及び専門委員の互選とされているため、互選により入江部会員が選出された。

(イ) 診療科別コースの策定について【協議】

資料1-1、1-2により事務局より説明

○主な意見及び質疑応答

特になし

(ウ) 医師修学資金受給者に係る令和3年度医師派遣計画について【協議】

資料2により事務局より説明

○主な意見及び質疑応答

特になし

(エ) 基幹型臨床研修病院の指定について【協議】

資料3により事務局より説明

○主な意見及び質疑応答

特になし

(オ) 地域密着型臨床研修病院の認定について【協議】

○主な意見及び質疑応答

特になし

(カ) 令和4年度から始まる基礎研究医プログラムの募集定員について【協議】

○主な意見及び質疑応答

(部会員) 確認だが、臨床研修の後の大学院での研究について修学資金受給者の義務年限に含まれるのか

→ (事務局) 修学資金受給者は対象としていないため、このプログラムに乗ることはない

(部会員) 基礎医学は重要なため、このプログラムには賛同する。

質問だが、4年間のうち最初の2年は研究と研修を並行し、残りの2年は大学院で引き続き研究するということだと思うが、国家試験に落ちてしまった場合はマッチング対象外ということによいか、また途中でプログラムから離脱する場合はどうなるのか

→ (事務局) 国家試験に落ちた者についてはマッチング対象外ということによい、途中で離脱した場合だが、このプログラム自体は基礎医学に進む者を支援するというので始めたものなので、いまのところ離脱した場合について、どこまで厳格にしていけるかは検討していない

(部会員) もう一つ質問となるが、手続きとしてマッチング外での採用だと思うが、その場合臨床研修はどこで行うことになるのか

→ (事務局) 枠としてマッチング外の採用なので、臨床研修はその大学で行うことになる。

(キ) 令和4年度から始まる臨床研修の募集定員について【協議】

○主な意見及び質疑応答

(部会員) 今回千葉県定員が10名減となっているが、この場にはない臨床研修病院のうち、実績があるにも関わらず、昨年度より定員が減されてしまった病院の方からは非常に残念との声もある一方で、国際医療福祉大学成田病院も応援していかないとはいけなく考えている。

そこで来年度定員の増員要望を行う際には今回の475名をベースに増員要望していくのではなく、減らされる前の485名が千葉県のスタートラインで、更にそこに新しい医学部ができたという他県とはまるで違う事情があるということを訴えて、千葉県の定員を拡充していくよう働きかけていくという意識を皆様で共有していきたい。

→ (事務局) 県としても今年の枠を超えた配分をしてもらうよう国とも話をしているところ、しかし国の内部の割り当ては計算式により機械的に算出しており、なかなか良い返事をもらえてないのが現状である。

引き続き粘り強く交渉していきたいと思っているが、先生方においても、機会があれば千葉県の特殊事情を御理解いただくよう御協力をお願いしたい。

(部会員) 私からも質問したいが、この定員減については千葉県のみならず、全国的に減っているのか、またその意図は何か

→ (事務局) 今年度については臨床研修の定員は全国で660名程度減員となっており、千葉県は13番目に減員された数が少なく、定員減の割合も9位ではあったが、国としては医師が過剰となるのではないかとこののを危惧しているようで、計算式を変更し、医師が本当に過疎となっている地域に配分をしたと思われる。

一方で、本県は医師少数県ということで医師を増やしていかなければならない立場なので、そういった事情を含めて国に訴えかけていきたいと考えている。

(部会員) 国際医療福祉大学成田病院は特区の問題と思っている。特区はオールジャパンで取り組むべき事項であり、それを千葉県だけで考えることはナンセンスだと思う。国に働きかける際にはそれも含めて訴えてほしい。